

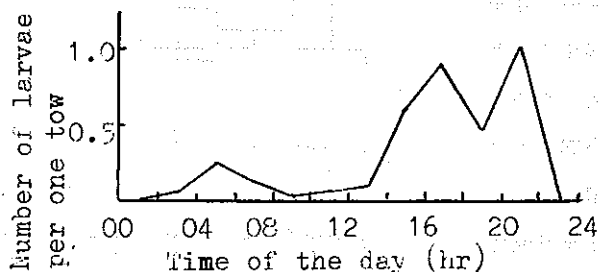
ある。全長範囲は3.8—23.4mmでモードは6—7mmである。

51. Blenniidae イソギンポ科 (88回出現、343尾)

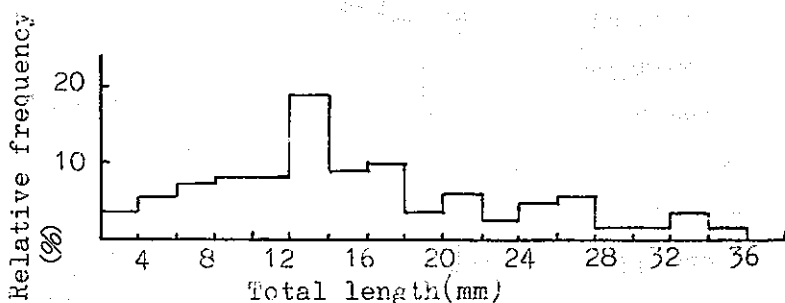
Dasson trossulus (JORDAN et SNYDER) ニジギンポ

(31回出現、112尾)

四季を通して出現し、出現盛期は秋期、出現海域は近海域と湾内、主分布域は湾内で、全出現個体の94%が出現した。出現時刻別の1網当りの出現個体数は図-44に示した通りである。3峰型をしておりモードは20—22時で夕方から夜間にかけて多く出現した。出現点の表面水温範囲は21.7—29.1°Cでモードは28.1—29.0°C。出現個体数加重平均水温は26.3°C、出現点数加重平均水温は26.3°Cである。



Figure—44 Relationship between time of the day and occurrence of larvae of Dasson trossulus



Figure—45 Total length composition of larvae of Dasson trossulus

出現個体の全長組成は図-45に示した通りである。全長範囲は3.1—35.9mmでモードは12—14mmにある。

Blenniidae gen. sp. イソギンポ科種不明 (57回出現、231尾)

四季を通して出現し、出現盛期は秋期、出現海域は東支那海を除く全海域で、主分布域は湾内である。出現時刻は04—06時に1番多く出現し、ついで18—20時が多く出現した。このように朝夕に多く出現した。出現点の表面水温範囲は21.1—29.2°Cでモードは26.1—28.0°Cにある。個体数加重平均水温は26.6°C、出現点数加重平均水温は25.7°Cである。出現個体の月別全長組成は図-46に示した通りである。出現個体の全長範囲は2.8—18.1mmでモードは8.1—9.0mmにある。月別全長組成より5月の全長3—4mmが6月には6—7mm、7月には8—9mm、8月には11mm前後に、9月には14—15mmに成長すると思われ、また